

平成30年度学校評価 最終アンケート結果より

職員結果より

<評価が低かったもの>

14 「学校は、作業学習について他の特別支援学校との情報交換を深め指導法の向上に努めることができているか」

23 「学校は、二学期制によって業務内容の簡素化や改善に繋げているか」

※「14」についての詳細は次項で行う。

※「23」は中間数値からわずかではあるが上がっていた。

<中間評価から最終評価で変更した質問項目について>

中間評価の質問項目「3」と「17」について、質問内容に二つの観点が含まれていることから、最終評価では質問項目を分けることで、以下のような成果と課題を明らかにすることができた。

中間	3 「学校は、 <u>ICTの活用と各教科の観点による的確な評価・改善</u> を行っているか」
最終	3 「学校は、ICTの活用など教材・教具の工夫・開発を行っているか」
	4 「学校は、 <u>観点別評価</u> を行い、指導課題・目標を明確にし、指導方法改善につなげているか」
成果と課題	全体平均と比較すると両項目とも低い数値ではあるが、中間評価の数値から比べると、わずかではあるが上昇が見られた。 このことから、中間評価の結果を受けて、「各教科学習におけるICTの活用」と「観点別評価の運用」について、具体的な取組が行われ、少しずつではあるが定着しつつあるといえる。

中間	17 「学校は、生徒の自主性に基づく <u>作業学習や教科指導の在り方を他の特別支援学校に発信するとともに企業に対し知的障害者雇用の理解啓発</u> を図っているか」
最終	14 「学校は、作業学習について他の特別支援学校との情報交換を深め指導法の向上に努めることができているか」
	15 「学校は、企業への知的障害者雇用の更なる理解・啓発を図ることができているか」
結果と課題	質問項目を二つに分けることで、「作業学習」については全体平均を大きく下回り、「企業への理解啓発」については全体平均を大きく上回るという結果を得ることができた。 このことから、中間評価では見えなかった「他の特別支援学校との情報交換と指導方法の向上」という新たな課題を明らかにすることができた。

<改善策>

○ 23「業務内容の簡素化や改善」については、昨年度から引き続き課題であり、次年度に向けた教育課程編成を前に、以下のような取組を行う。

- ・ 全職員に改めてアンケートを実施し、「業務の簡素化と改善」についての具体策を探る。
- ・ 具体策を基に、「企画係」や「教育課程係」、その他関係校務分掌主任と検討し、次年度の教育課程編成に当たる。

生徒結果より

<評価が低かったもの>

- 9 「学校は、家庭とよく協力をし、学校の情報を提供していますか」
11 「学校には、困ったことや悩みがあるとき、話しやすい場所や方法がありますか」
※「9」については、中間評価から大きく評価を落としている。
※「11」についての詳細は次項で行う。

<中間評価から最終評価で変更した質問項目について>

最終評価の質問項目「11」については、質問内容を二つに分けることで、以下のようにより具体的な成果と課題を明らかにすることができた。

中間	10 「学校は、困ったことや悩みがあるとき、相談しやすいですか。」
最終	10 「学校には、困ったことや悩みがあるとき、話しやすい人がいますか」 11 「学校には、困ったことや悩みがあるとき、話しやすい場所や方法がありますか」
成果と課題	中間評価の「相談しやすいか」について、最終評価で「話しやすい人」と「話しやすい場所や方法」の二つに分けることで、生徒自身の具体的な困り感を明らかにすることができた。 結果から、両項目ともに全体平均の数値より下回ってはいるものの、「話しやすい人」より「話しやすい場所や方法」の方が大幅に低い数値を示した。 この結果は、中間及び最終評価における職員評価で「学校は、困っていたり、悩んでいたりする生徒に対し、相談しやすい雰囲気づくりに努めているか」が高い評価を示していることを裏付ける結果であり、生徒に寄り添う職員の取組が評価されたと言える。 反面、「話しやすい場所や方法」についての課題は残されたままとなった。

<改善策>

- 9 「家庭と協力、情報提供」については、日頃の連絡帳や家庭との連絡などを継続して行いつつ、最終評価の落ち込みの原因を早急に明らかにし、対応する。
- 11 「話しやすい場所や方法」については、現行の保健室や各教室の利用に加え、東高校から教育相談室として借用している地歴室をこれまで以上に有効に活用できるような働き掛けを継続して行う。

保護者結果より

<評価が低かったもの>

- 9 「部活動は、顧問による指導の下、事故やけがのないような指導が行われるとともに、その活動状況について、保護者に周知していますか」

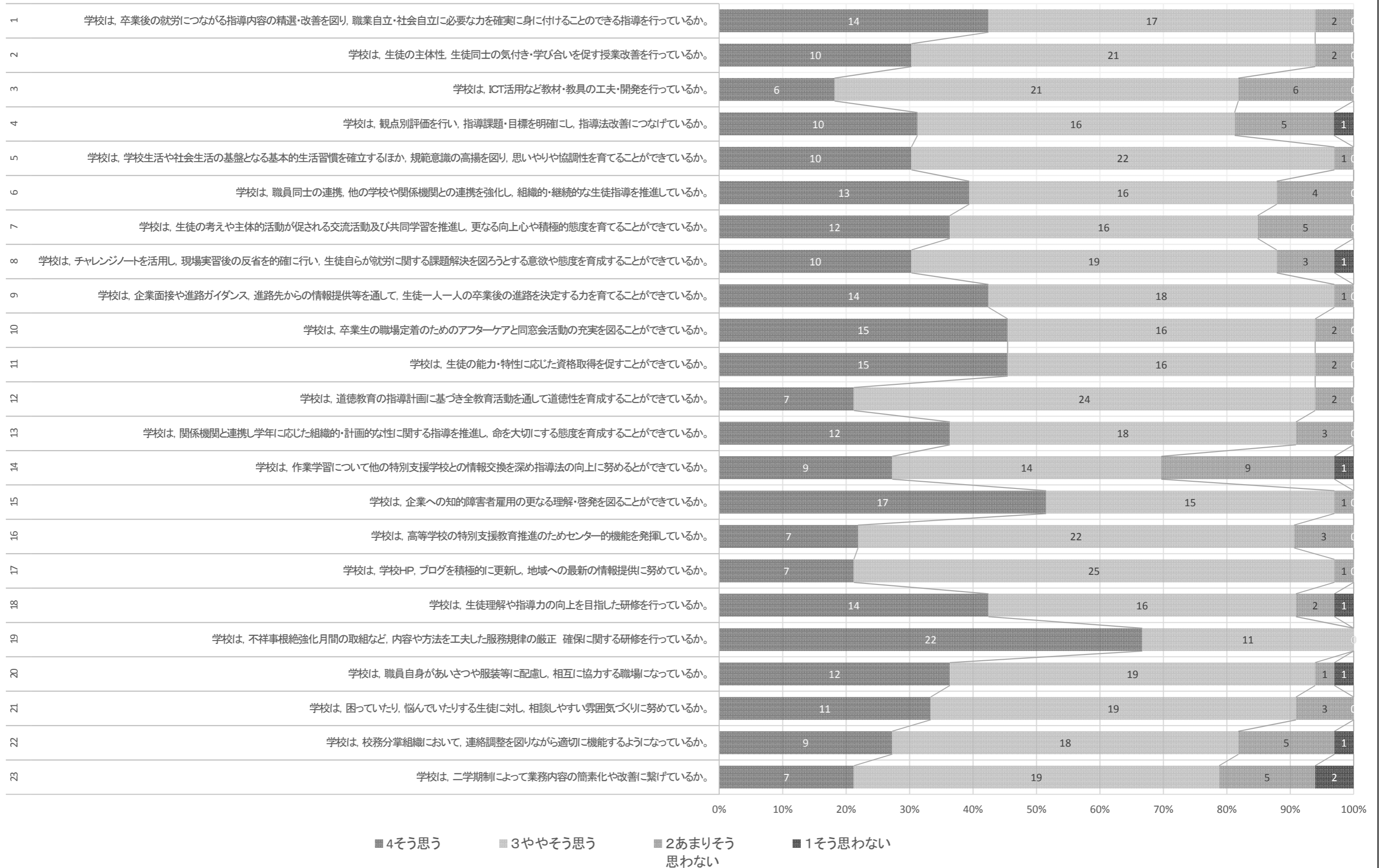
<中間評価から改善が見られたもの>

- 13 「PTA活動」については、全学年で若干ではあるが評価が上がった。

<改善策>

- 9 「部活動」については、中間評価より大幅に数値が落ちており、今後その原因を明確にするとともに、次年度に向けて部活動顧問を中心にこれまで以上に安全面への配慮と保護者への情報提供を行う必要がある。

平成30年度学校評価 最終アンケート【職員】



平成30年度学校評価 最終アンケート【生徒】



平成30年度学校評価 最終アンケート【保護者】

